Personal Question　❶座右の銘や好きな言葉　❷長年、使い続ける愛用の品は？　❸タイムマシンがあったら、いつどこに行く？

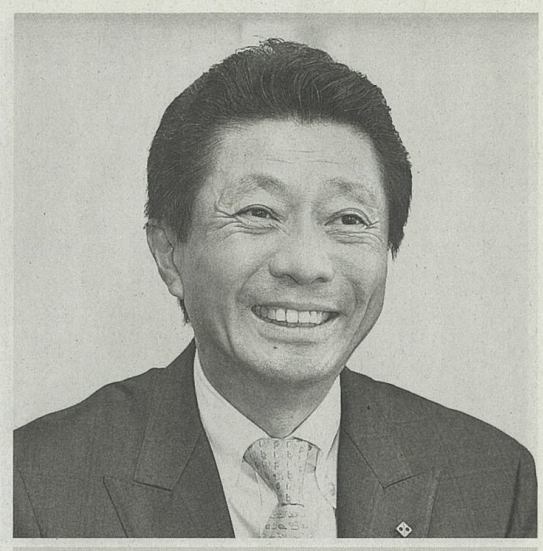
2021 TOP INTERVIEW

福地組 福地 裕吉 社長

ふくち・ひろよし　1947年生まれ。嘉手納町出身。山梨大学工学部卒業。大本組（岡山県）を経て、77年、福地組に入社。78年に社長就任。

❶継続は力なり　❷カバン。集めるのが好きで、旅先でも必ず購入している　❸2050年の沖縄と日本

美十 酒井 宏彰 社長



さかい・ひろあき　1966年京都生まれ。85年、アメリカの料理製菓専門学校「The Culinary Institute of America」入学。92年株式会社おたべ入社。副社長を経て2001年から現職。15年、社名を株式会社美十に変更。

❶やはりこれでないとと言われる「唯一無二」
❷高校入学時に祖父からもらった腕時計
❸自宅の近くに本能寺があるので、織田信長の時代へ

東恩納組 東恩納 惟 社長

ひがしおんな・ゆい　1992年生まれ、那覇市出身。東京大学大学院修了（有機合成化学）。2018年に積水化学工業。19年7月に東恩納組入社し、20年7月から現職。

❶現状維持は後退を意味する　❷筆箱
❸未来の地球でベテルギウスの超新星爆発を見たい

ピース企画 平安 秀昭 社長

ひらやす・ひであき　1966年、那覇市生まれ。不動産業を経て、96年にピース企画を創業、現在に至る。

❶為せば成る
❷中学時代に買ってもらった牛皮の硬式グローブ
❸少年野球をしていた10歳の頃

設立25周年 さらなる一歩へ

―昨年を振り返って。

弊社は不動産売買から賃貸管理、さらに那覇、石垣、竹富、宮古島でマンスリー・ウィークリーマンション（以下、MWM）の管理運営と、ホテル経営を行っています。ホテルピースランドグループでは昨年5月、10棟目となる「ホテルピースアイランド名護」（138室）を名護市に開業。宮古島はコロナ禍の中でも、10月以降平均稼働率85～90％を維持。前年より売り上げはアップしました。石垣も徐々に戻りつつあります。MWMでは、新たに那覇市久米と泉崎の2棟をオープン。全17棟、約560室を展開しております。コロナの影響があり、売り上げは昨年比の90％程度となりました。MWMもホテルも、立地の良さがコロナ禍でも高い稼働率を維持できている要因です。

―県経済、宿泊事業の展望は。

年に数回海外視察に行くのですが、ハワイなど、海外のリゾート地と比べて沖縄は、手付かずの自然と豊かな文化が魅力で将来性があります。東南アジアという大きな観光市場もありますので、3年後には県経済も持ち直すのではないかと期待しています。

弊社は県内でいち早くMWM事業に乗り出し、順調に業績を伸ばしてきました。宿泊業ではこの1、2年、民泊が一気に増えましたが、コロナの影響もあって撤退が加速しています。この状況はMWMが急増し、稼働率があげられずに淘汰が進んだ20年ほど前と同じ状況だと感じています。MWMやホテルを10年、20年と安定経営していくために、お客様目線で立地を慎重に判断して建設・運営することが重要です。

―県高校野球夏季大会では、八重山高校に宿泊先を無償提供されました。

小学2年生で野球を始め、今でも実年チームでプレーするほど野球好きです。夏季大会の準決勝、決勝が名護市で開かれると知り、宮古・八重山地域に何か貢献できればと、準決勝以降の宿泊先として弊社の名護のホテルへ招待しようと各高校に提案しました。勝ち上がった八重山高校を3日間、宿泊から食事、送迎までをサポート。優勝はうれしかったですね。

―21年の主な展開は。

那覇市前島の「ホテルピースランド」を老朽化のため建て替え、客室数を40室増の90室にします。ビジネスや観光、スポーツ合宿などで人気ですが、建て替えでより快適に過ごせる環境になると思います。完成は22年6月の予定です。竹富島の「ホテルピースアイランド竹富島」の隣接地で計画を進めている新ホテルと温泉施設は、建築許可がおり、地域活性化に一役買う場となれるよう建設を進めてまいります。名護市は年間約700万人が通過し、ホテルの潜在需要が高い地域。今後も新たな建設の計画を検討していきます。

―新年の主な展開と抱負を。

3月で会社設立25周年を迎えます。20歳から不動産業に就き、バブル景気も経験しておりますので、社会情勢や景気が悪いとやる気が出てくるタイプ。この期をチャンスと捉え、新たな一歩につなげていきたいです。

最高品質の建築提供に精進

―昨年を振り返って。

新型コロナウイルスの流行抜きには語れない年でした。基幹産業の観光や飲食で大きなダメージを受け、県経済は疲弊しています。設備投資意欲の減退で建設業界も影響が出ており、弊社が目標としていた民間工事でも数件の延期があります。公共工事で補う形になりますが、全てをカバーできていません。数字として影響が表れるのは今年以降になりますが、建設業界も厳しい荒波に耐える時期になります。

しかし、希望もあります。豊かな自然や独特の文化、歴史を持つ沖縄は、コロナが終息すれば今までの揺り戻しで観光客数は一気に回復するでしょう。日本とアジアの間にあり、物流の拠点としても最適で、アジア各国をつなぐハブとしての役割を十分に果たせます。新しい生活様式に合わせたワーケーションなどのサービスの提供にも優位性があります。コロナ後の新たな需要を取り込むため、ハード面の整備が不可欠であり、建設業のニーズは依然として大きいと考えております。

―御社にとって2020年はどういった年でしたか。

建設現場はテレワークが難しく、感染防止と工程管理の両立には苦心しました。民間検査機関と独自に契約を結び、発熱した場合、濃厚接触者でなくても現場の職員全員が、すぐにPCR検査を受けられる体制をしくなど、「with コロナ」を意識した現場運営を心掛けています。そのような中でも、マンションのグランドパレス牧港や座間味村歴史文化・健康づくりセンターなど、最高品質の建築を完成させることができました。今後も最良の建物を提供できるよう精進して参ります。

―21年に重視する施策は。

建設業界では慢性的に人手不足が続いています。30年頃には技術者の需給ギャップが10万人弱に達するという予測もあり、人材確保は喫緊の課題です。弊社はこれまで給与や福利厚生の向上に力を入れており、職員が安心して長期的に働ける環境を築いてきました。定年制の撤廃で、高い技術力や知識を持つ社員も活躍しています。

若手の採用にも注力しています。昨年は沖縄工業高校で講話する機会をいただき、建設業の魅力をPRしました。美里工業高校では奨学金制度を新設し学生の支援を開始しました。建設業界や弊社を知ってもらう機会を増やし、若年技術者へ門戸を広げています。人材確保だけでなく、現場管理ソフトや空撮ドローンを導入し、労働生産性の向上にも努めてきました。しかし、これは通過点に過ぎません。人工知能（AI）やロボット技術への投資は、今後も積極的に続けていきます。

―新年の抱負をお願いします。

「人を守り、心地よく、美しい建築物をつくる」との建築理念の下、全社員が一丸となって最高品質の建築物を安全第一に作っていくことが使命であり、喜びです。建設の基本のQCDSE（品質、原価、工期、安全、環境）を重視し、お客さまに喜ばれる東恩納組であるよう、まい進して参ります。

沖縄食材使いスイーツ開発

―御社の事業の紹介を。

1938（昭和13）年に祖父が京都で開いた純喫茶「美十」を発祥に、46年から菓子小売店を営み、66年からはつぶあん入り生八つ橋「おたべ」を製造販売し、現在ではバームクーヘン「京ばあむ」ほか各種ブランドでの菓子製造販売、地元の京都を筆頭に東京や大阪など各地での洋菓子店の運営、高級食パン専門店「別格」、OEM菓子製造といった事業を展開しております。

―沖縄への進出について。

海外からの観光客が多い沖縄では、日本の人気土産菓子への需要が高く、那覇空港第2滑走路の運用開始でさらなる増加が見込めることから、一昨年3月の那覇空港内連結ターミナル開業時に「おたべ・辻利那覇空港店」を出店し、「おたべ」や「辻利」ブランドのお菓子、ソフトクリームなどの商品を販売しております。

昨年9月には、沖縄発バナナスイーツ専門店「バナナパラダイス」を国際通りに開業しました。全国各地で人気せの沖縄バナナパン」は、地元の皆さまにご好評いただいております。

さらに、アジアへの展開も視野に入れ、昨年8月にうるま市に新たな製造工場が完成しました。沖縄進出を機に各店舗では現地採用を行っており、うるま工場の本格稼働の際には、地元からの採用を増やしたいと思います。

―新型コロナ感染拡大の影響は。

沖縄と同様に、弊社の本拠地である京都も、観光をとりまく産業が多大な影響を受け、観光や出張の土産菓子を製造販売する弊社にとっても非常に厳しい年でした。4～5月の観光客は約9割減となりましたが、6月から少しずつ回復の兆しを見せ、11月の3連休はGoToトラベルと地域共通クーポンの効果で、ようやく売り上げが前年同月比を上回りました。

弊社には約3百人の正社員と約7百人のパートタイマーがおりますが、京都と東京の工場にはベテラン技術者が多く、給与保障しながら自宅待機してもらったり、勤務形態を変更したりして人材確保に努め、製造ラインがフル稼働を再開する日に備えています。

―新年の取り組みを。

「バナナパラダイス」の低単価新商品の開発、沖縄での認知度向上を目指す試食イベント開催をはじめ、すでに京都のケーキ店では宮古島産マンゴーなどの採用実績もあり、沖縄産食材に着目した限定スイーツの開発などにも取り組みたいと思います。

また、グルテンフリーやアレルギーフリーなど、食べる方に優しい商品の開発にも力を注ぎたいと考えます。おいしいお菓子は、人を幸せな気持ちにしてくれます。沖縄の皆さまに愛される商品づくりを通じ、沖縄の皆さまとともに、この厳しい時代を乗り越えてまいりたいと存じます。

技術力と多様な人材で挑む

―2020年を振り返って。

コロナ禍の影響を受けて、建設業界の外部環境も厳しくなりました。コロナ以前の県内の景気が好況だっただけに、なおさら反動は大きいと感じています。ただし、当社では昨年、過熱感の強かったホテルや分譲マンションより、中長期的に安定感のある戸建て住宅や社会福祉・医療分野などに注力したため、落ち込みは限定的でした。

―昨年の御社の取り組みについて。

読谷村に、宿泊体験型の木造住宅のモデルハウス「ココウチ」を開設しました。快適さや省エネといった切り口から、今までの沖縄にはなかった新しい暮らし方や価値基準を提供できると考えています。泊まって体感してもらうのが一番早いと思い、「宿泊体験型」にこだわりました。木造として最高品質のものを手掛けるために、関東で豊富な経験を持つ工務店の技術指導や、熟練の大工を沖縄に派遣してもらうなど、県外大手と施工技術で連携しました。「高品質・安全・信頼」を旨とする当社として、お客さまには品質管理・安全管理にこだわった商品を提供したいと考えています。

―人材育成や女性活躍推進にも積極的に取り組まれています。

人材育成は経営上の最重要事項の一つです。厳しい時期だからこそ、いま一度会社の進むべき方向を見直す必要があります。社員の意見やアイデアを拾い上げながら、全体で会社の進むべき方向を合わせていくことが大事です。具体的には階層別研修をスタートさせ、社員の幅広い分野の知識向上やスキルアップを図っています。その中では社員の自助努力を促すような仕組みを推進しています。コンプライアンス・マニュアルも作成し、社員ひとりひとりの人間力を高め、会社の飛躍につなげたいと考えています。

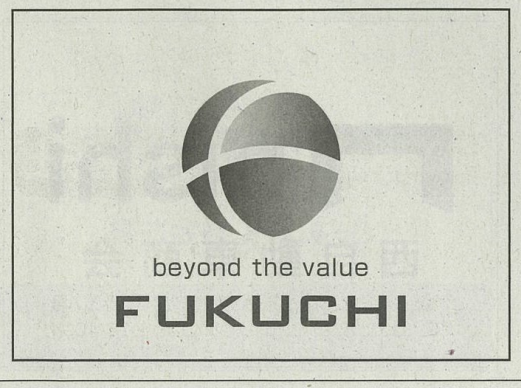
昨年は沖縄労働局から女性活躍推進企業として「えるぼし」認定を受けました。元々、当社では専門の女性コーディネーターが家づくりを提案する「F_Labo」も展開していました。これからは女性の活躍推進はもちろんのこと、建設以外の経験値をもった人材も受け入れながら、多様性のある職場環境を目指していきたい。それが組織の活性化につながると考えています。

―地元・嘉手納町への社会貢献活動にも熱心です。

終戦後の荒廃した社会環境の中、地域の人々の支えと協力のおかげで今の会社があります。これからも人との出会いを大切にしながら、地域への感謝と恩返しで貢献していきます。その上で「地域や社会にとって必要不可欠なものは何か」という視点で、商品やサービスを提供したいと考えています。

―新しい年にあたって。

建築・土木分野のIoT化や技術革新が進んでいるので、流れに乗り遅れないよう積極的に取り組みます。例えば、土木分野のVRや、3次元モデルを軸に情報を共有し活用するCIM（建築分野ではBIM）の導入です。綿密な調査と計画の下、勇気を出して新しい事業に挑戦する年としたいです。



株式会社 ピース企画
PEACE PLANNING CO.,LTD.
☎098-835-1818
営業種目
＊土地・建物売買・分譲住宅　＊貸アパート・ビル仲介管理
＊マンスリー・ウィークリーマンション企画・管理
ホテルグループ事業
●ピースアイランド名護
●ピースランド那覇　●ピースランド久米
●ピースランド石垣島　●ピースアイランド石垣イン八島
●ベルハーモニー石垣島　●ピースアイランド竹富島
●ピースアイランド宮古島
●ピースアイランド宮古島市役所通り
●ピースリーイン宮古島 NEXUS
http://peace-k.jp/peace/